

この度の、北海道大会おめでとうございます。すでに47回の全国区大会！！、胸がいっぱいです。全国組織を作るために、全国各地をまわり、東京で全国組織が結成せれた喜びは忘れることが出来ません。東京、仙台、大阪と大会を拡大し今日に至っています。この間、多くの方々にお世話になりました。東京の黒沢謙吉先生、山川岩五郎先生などは初期のリーダーでした。

そのころ、北海道では、木村邦彦先生、安孫子昇先生、小山田碩先生など、理科授業研究の第一線のリーダーでした。

北海道のへき地の理科は、生物教材で、教科書に書かれているものは使えなくて、毎年、北海道に参上して、へき地の生物の教材研究をして、授業の研究をしました。当時は、へき地の理科教科書を文部省で編集していましたから、北海道の事例をもとに教科書を作ったことを思い出しています。

先人の土台の上に、北海道の理科の発展があることを深く感じる毎日です。

全国大会の御盛会を心より念じます。

武 村 重 和